

国民の審判で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年4月17日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

年金引き上げて！消費税増税やめて！TPP参加反対！

15日年金支給日 全道40カ所以上で行動

4月15日、2ヵ月に一度の年金支給日に合わせて、後期高齢者医療制度に怒る会、消費税廃止各界連、年金者組合、社保協などが、全道40カ所以上で、「年金や生活保護の引き下げ、医療費値上げなど社会保障を改悪するな！」「消費税増税やめろ」「TPP参加反対」などの宣伝署名行動を行いました。



釧路 和商市場前にテーブルもだして行いました。風が強く、まだまだ寒い釧路は人通りがまばらでしたが、「TPP」のノボリを見て「大事な事だよええ～」と言いながら近づいてきて、「消費税～」「年金引き下げ反対」次々に署名しました。

札幌 区ごとに行動を行い、西区では183筆の署名が集まりました。

50名で札幌中心街 昼宣伝

札幌中心街での昼宣伝には、約50人が参加しました。消費税廃止各界連の池田事務局長は「物価が上がっても、庶民の収入は上がりません。今でも生活が大変なのに、消費税増税、社会保障が改悪されたら、もっと大変になります。消費税増税ではなく、社会保障を拡充させる道があります」と訴えました（上の写真）。



旭川 雪の降る悪天候でしたが、買い物公園で行いました。

70～74歳の医療費負担の引き上げ 安倍首相が明言

昨日の衆議院予算委員会で、引き上げ時期は示しませんでした。法律で定めている2割負担に引き上げることを明言しました。**反対の世論を広げましょう。**



函館 繁華街で行動しました。「今でも低い年金で、これ以上下げられたら生活ができない。何とかして」「ご苦労様、いろいろがんばっているが、今の政治では、どうにもならないのでは」など話し署名してくれました。

地方版子ども・子育て会議の設置と関係者の代表参加を 北海道や札幌市、旭川市などへ要請 各地でも要請しましょう！

昨年8月に成立した「子ども・子育て関連三法」が2015年4月実施に向け動き出していますが、新制度に対して、保育関係者からも不安や危惧、制度の見直しの声が上がっています。

政府は、**地域の子どもや子育て家庭の実情を踏まえて**新制度を実施させるため、2013年度のできるだけ

「会議の役割」 (設置した場合)

自治体が、教育・保育施設や地域型保育事業の**利用定員**、市町村・道**計画の策定・変更**時は会議の意見を聴かなければならない。

早い時期に、各自治体に対して「地方版子ども・子育て会議」などを設置する努力をし、その構成員に教育・保育両分野の関係者を入れて、子育て当事者の参画に配慮する等幅広く意見を聞くことを求めています。

北海道の保育団体連絡会と学童保育連絡協議会は、2月、北海道に対して、同会議の設置と代表の参加などを要請しています。3月、札幌で保育連・保育労組が市との交渉で要請し、市は「会議の設置は設置予定であること、関係者・保護者も入れることになっているが、選定方法はこれから決める」とのことでした。旭川保育連絡会も市に要請書を提出し、近く懇談する予定です。**どの子にもよりよい保育を保障し、働く父母や保育所職員が安心して働き続けられるように、全道各地で、会議の設置など要請しましょう。**